

高野新聞

Vol.70



たかの
高野 たけし
無所属 40歳

逗子市議会議員（三期）
・議会運営委員会委員長
・教育民生常任委員

高野たけしの活動報告

～住みやすいまちづくりに向けて～

◆逗子市の財政状況

第3回定例会において平成24年度の決算報告がありました。依然厳しい状況にあると言えます。特に実質収支比率と財政力指数においてはここ数年悪化の一途を辿っています。(表1)

＜財務比率の推移＞ (表1)

	実質収支比率	経常収支比率	公債費比率	財政力指数
平成24年度	8.1%	97.1%	9.2%	0.852
平成23年度	7.5%	98.9%	9.6%	0.876
平成22年度	7.1%	98.3%	9.7%	0.902

実質収支比率：標準財政規模に対する割合。
一般的には3～5%が望ましいとされている。
経常収支比率：経常一般財源に対する経常的経費の割合。
一般的には70～80%が望ましいとされている。
公債費比率：経常一般財源に占める公債費の一般財源所要額の比率。
一般的には10%以内が望ましいとされている。
財政力指数：財政上の能力を示す指数。
この指数が1を超えるほど財源に余裕がある。

◆5年間で14.5ポイントダウン

一般会計では自主財源の落ち込みが続いていますが、これは市税収入の減少が最大の要因となっています。(表2)市税収入の落ち込みに関しては、経済状況に加え、高齢化が進む本市の状況も起因していると考えられます。

＜財源別歳入状況＞ (表2)

	自主財源	構成比	依存財源	構成比
平成24年度	11,748,950,857	58.1%	8,486,354,797	41.9%
平成23年度	11,300,654,302	62.6%	6,760,427,767	37.4%
平成22年度	11,374,500,650	62.4%	6,847,466,413	37.6%
平成21年度	12,026,074,404	65.9%	6,218,811,687	34.1%
平成20年度	12,406,320,656	72.6%	4,671,386,389	27.4%

政治資金の残り あと 68,929円

(7月1日～9月30日の内訳)	収入…給与から	150,000円
	支出…ポスター用写真撮影	9,500円
	ポスター作製	90,000円
	ポスター掲示用ボード、テープ	13,110円

◆一人当たり29万7,084円の借金に

市税収入の落ち込みを補填するかたちで、市債借入額は平成20年度以降大幅に増えてきています。(表3)特に、平成24年度は一般廃棄物処理施設整備に9億9,160万円、第一運動公園整備に1億5,050万円と大型の整備事業が入ったため市債割合が大幅に増加していますが、仮にこれらの事業が昨年同額であっても市債借入額は増加している現状にあります。

また、一般会計の市債残高も平成24年度末時点で約172億円となっています。これは市民一人当たり約30万円の借入がある計算になります。

＜一般会計歳出額と市債借入額＞ (表3)

	一般会計歳出決算額	一般会計の市債借入額	市債割合
平成24年度	19,269,600,438	2,900,400,000	15.1%
平成23年度	17,128,362,921	1,442,900,000	8.4%
平成22年度	17,361,948,472	1,360,100,000	7.8%
平成21年度	17,594,199,468	1,331,500,000	7.6%
平成20年度	16,427,534,095	921,100,000	5.6%

◆事業の取捨選択が課題

本市においては、歳入の増加が当面見込めない現状を考慮して事業内容の見直しを進めていかない限り財政の健全化が見込めないことは言うまでもありません。

今定例会で行政より提出のあった「平成24年度決算に係る主要な施策の成果報告書」を見ても、すでに目的をある一定達成した事業が継続的に行われているため、予算額と執行結果が著しく乖離しているものも見受けられます。そのため、事業の取捨選択を住民目線で行う事業評価会議の継続的な実施を改めて担当部長に提起させていただきました。

※逗子市の事業評価会議

平成22年度に無作為抽出で選ばれた市民が参加して実施したが、その後は未実施。評価対象となる事業の絞り込み段階から仕分けまでを市民参加で行う形を採用したのが特徴。

一般質問

平成25年第3回定例会にて、市民の皆様から頂戴したご意見を基に一般質問を行いましたので、その一部を掲載いたします。

JR逗子駅西口の整備について

朝の通勤、通学時間帯、また夕方から夜にかけての帰宅時など、JR逗子駅西口にも多くの送り迎えの車が停車する状況がうまれています。現在も山の根側に送迎用の駐車エリアが設けられていますが、スペースが狭く停車台数も限られていることもあって、駅構内に入る階段下あたりに停車する車両も少なくありません。そのため、歩行者や他の通行車両との接触事故が発生する恐れもあり、危険な状態にあると言えます。

そこで、歩行者、車両ドライバー双方の安全性を確保するために車両転回場所を設置するよう提案したところ、担当部長より必要性は感じているので、まずは設置できるのか物理的な状況調査を12月までに行い結果を報告させていただきたいとの回答がありました。

また、西口前の県道は歩道の整備がされている箇所も少なく、歩行者の安全性がしっかりと確保されていないので、管理者である神奈川県に対する要請活動を強化するよう求めた件に関しては、早速、神奈川県に対する要請を行っていきたいとの回答を担当部長よりいただきました。

新宿4丁目地内の急傾斜地について

新宿4丁目地内で行われている開発地において、開発業者から「急傾斜地崩壊防止工事の施工届出」が神奈川県に出され樹木の伐採は始まったものの、その後工事は一向に進まず、伐採後の樹木がワイヤーで縛られて急傾斜地に放置されているため、近隣住民からは不安の声が上がっています。

そこで、安全確保の観点から市としても何らかの対策をとるべき旨提言したところ、市長より県土木とも連携して厳しく指導していくとともに、急傾斜地崩壊防止工事を期間内に行わない場合においては「つくる条例」を適用していくとの回答がありました。

JR逗子駅西口の停車エリア



ワイヤーで縛られた状態の大木



どーなっているの？

市民の皆様からいただいた、ご意見・ご要望にお答えするコーナーです。

Q1 スズメバチの巣の駆除に対する市の助成制度があるが、対象の事業者が1社しかないのため対応してもらうまでにずいぶん時間がかかってしまった。助成制度の対象となる事業者を増やしてほしい。

現在の制度は駆除を依頼する市民が市と契約している事業者に直接申し込みをし、駆除作業が終わったらその場で自己負担分となる3,465円を支払う形となっています。(閉鎖個所や高所作業車使用の場合の別途料金発生時は自己負担)これは本市が入札制度により委託業者を選定しているため(通常駆除1件につき10,500円で契約)、このような形になっています。担当所管に確認したところ、入札制度による業者選定を行った場合通常駆除の金額を抑えられるだけでなく、助成制度利用者にとっても煩雑な手続きを行わなくてすむというメリットがあるため、このような方法をとっているとのことでした。

そこで、今年のようにスズメバチが大量発生する年(4年に1度)は事業者の対応も遅れてしまうので、対象事業者を増やすことも視野に同制度のあり方を見直していただきたい旨提案したところ、検討していくとの回答をいただきました。

多くの自治体にも同様の制度はあるので、他自治体の事例も参考に、市民がより使いやすい制度に改善していただくことを期待しています。

Q2 逗子市役所裏の空き地にある公衆トイレもだいぶ古くなったので、ペンキを塗り直すなどしてきれいにしてほしい。

私は普段使用する機会が無いので状況を知り得ませんでしたが、実際に行ってみて感想は古びた感是否めないというのが正直なところですよ。

そこで、この公衆トイレを管理する管財課に改善を提案したところ、予算状況を確認した上でできるだけ早い時期に対応できるよう協議するとの回答をいただきました。

この公衆トイレの清掃には、臭いを防ぐとともにノロウイルスの拡散を防止する次亜塩素酸水を使用しているとのことですが、やはり見た目もきれいなトイレを使いたいというのはみなさん共通のご意見ではないでしょうか。

昭和59年築の公衆トイレ

